



# こども歴史なぜなに? 相談室



## 江戸時代には福山から江戸まで何日かかったの?

現在、福山から東京は約 800km です。新幹線に乗れば、4時間程で着きます。江戸時代の人は、歩いたり、船に乗ったりしながら旅をしました。どれくらいかかったのでしょうか? 人間の歩く速度は時速約 4km とされています。800 ÷ 4 = 200 時間 一日に 8 時間歩けば 200 ÷ 8 = 25 日かかる事になります。

しかし、毎日歩けばかりではありません。途中で観光をしたり、知り合いの家を訪ねたりしながら旅をしました。

実際に備後国神辺の菅茶山という人が、文化 11 年 (1814) に江戸へ行った時の日記から旅の行程を見てみましょう。

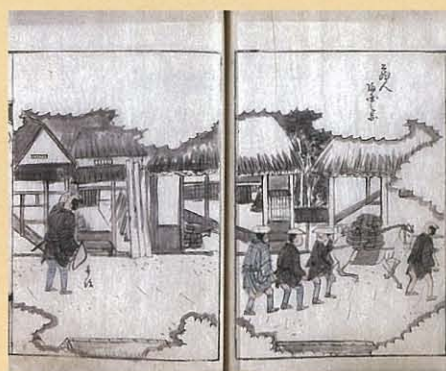
5月6日に神辺を出発。矢掛(岡山県矢掛町)泊。7日岡山(岡山市)泊。8日三ツ石(備前市)泊。9日病気の為休み。10日正條(兵庫県たつの市)泊。11日(兵庫県加古川市)泊。12日兵庫(神戸市)泊。13日尼崎から船で大坂(大阪市)の藩邸に入る。その後、大坂の知り合いなどと会って過ごし、18日に大坂を出発。淀川を船でのぼって京都(京都市)泊。19日、京都で弟の墓参りなどをした後、20日に京都を出発し大津(滋賀県大津市)泊。21日水口(甲賀市)泊。22日関(三重県亀山市)泊。23日四日市(四日市市)泊。24日万場(愛知県名古屋市)泊。25日岡崎(岡崎市)泊。26日白菅〔白須賀〕(静岡県湖西市)泊。27日袋井(掛川市)泊。28日藤枝(藤枝市)泊。29日興津(静岡市)泊。6月1日原(沼津市)泊。2日箱根(神奈川県足柄下郡)泊。3日平塚(平塚市)泊。4日金川〔神奈川〕(横浜市)泊。そして5日に江戸へ到着しています。27泊 28日ほどかかっています。

彼は、旅の途中で懐かしい人に出会い、おいしいものを食べ、そして美しい景色を眺めながら旅をしていました。

それでも一日の歩く距離は約 30km から 45km になります。この時、菅茶山は 67 才でした。今では信じられない健脚といえるでしょう。江戸時代の人たちの旅では決して珍しくはないのです。

さて、新幹線や自動車に乗ることになれてしまった私たちにこんな旅はできるのでしょうか?

(主任学芸員 岡野将士)



菅波信道一代記より